

## 小児科救急医療体制検討会の協議経過について

### 1 設置目的

小児救急医療の分野において、主に一次救急医療の場面で生じている課題の解決に向け、小児救急医療体制について検討する。

### 2 開催実績

| 区分  | 開催日      | 主な協議事項  |
|-----|----------|---|
| 第1回 | H24.11.5 | ○規約の説明後、委員長を選出した。<br>○急患診療センター・急患診療所、小児救急医療電話相談事業（#8000）の現況等を踏まえ、小児一次救急医療に関する課題について議論した。    |
| 第2回 | H25.2.4  | ○前回の会議での議論を踏まえ、小児一次救急医療に関する課題について整理した。<br>○小児科医へのアンケートの調査結果等を踏まえ、小児一次救急医療に関する各課題について議論を深めた。 |
| 第3回 | H25.4.9  | ○市民へのアンケートの調査結果等を踏まえ、小児一次救急医療に関する各課題について議論を深めた。<br>○各課題への対応策について、議論した。                      |

### 3 小児救急医療に関する課題

#### （1）急患診療センター・急患診療所における患者数の増加への対応

・小児患者数は年々増加傾向にあり、待ち時間が長時間化するとともに、医師一人あたりの診療件数が増加し、医師の疲弊につながっている。

#### （2）急患診療所に出務する内科・小児科併診医師の確保

・急患診療所へは、小児科を併科標榜する内科医に出務いただいているが、小児科を併科標榜する内科医の減少や高齢化により、出務医師の確保が困難となっている。

#### （3）一次救急医療体制が手薄となっている時間帯や医療機能における受入体制の構築

・土曜日の午前中は開業医が、19時からは急患診療センターが一次救急医療を担っているが、午後から急患診療センターが開くまでの、一次救急医療体制が手薄となっている時間帯について、体制の構築が必要となっている。

・外傷等、外科系の小児患者の救急車で搬送先がなく、救急搬送に時間がかかる事例が発生しているため、受入先の確保について検討する必要がある。

#### (4) 休日の小児科二次病床の確保

- ・休日、GW、年末年始において、現在確保している小児科二次病院のベッド数(3施設各1床)を上回る二次搬送が常態化しており、二次搬送先の増設が必要となっている。

#### (5) 患者のニーズに応じた診療機関の広報、保護者への啓発

- ・不要・不急の受診者を減らすため、診療の緊急性等の相談に応じる相談窓口の拡充が必要となっている。また、既存の相談窓口(#8000等)のより一層の周知が必要である。
- ・患者の症状に応じた医療を円滑かつ適切に提供するため、急患診療センターや急患診療所、二次救急を担っている医療機関が診療対象としている疾患や、症状について、市民、医療機関を含めた広報、周知が必要である。
- ・保護者の育児不安の解消や、小児救急医療機関への適切な受診を促すため、かかりつけ医の重要性や子どもが病気になったときの適切な対応など、救急医療に関する知識の普及啓発を図る必要がある。

### 4 課題への対応策(※委員から出された主な意見で、決定事項ではない)

- (1) 急患診療センター・急患診療所の業務の改善及び人員体制の増強、開業医の電話相談対応
- (2) 診療対象の徹底、出務医師の確保方法の見直し、医師の配置の見直し
- (3) 開業医の診療時間の延長、急患診療センターの診療時間の拡大
- (4) 休日の小児科二次病床の増設
- (5) 救急医療に関するサービス及び急患診療センター・急患診療所の診療対象についての広報